

智頭町 智頭町 森林組合だより

平成26年6月 No.15

もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS



1. 第27回通常総代会の開催について	(1)
2. 組合長挨拶	(2)
3. 25年度・事業報告・経営状況	(3)
4. 26年度事業計画	(4)
5. 新役員紹介	(5)
6. ニュースフェイス	(5)
7. 総代の皆様くお世話になります	(6)
8. 26年度組織分担表	(7)
9. 理事会開催報告	(8)
10. 地区座談会、団地化説明会	(8)
11. 安全衛生研修会の開催	(9)
12. 智頭中学校の改築状況	(9)
13. 木質バイオマス発電	(10)
14. 加工センターからお知らせ	(11)
15. 機械点検会の状況	(11)
16. 共生の森の活動	(12)
17. 智頭中学校ワクワク体験	(12)

☎ 689-1402 智頭町森林組合
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2081 番地 4
TEL (0858) 75-0075(代) FAX (0858) 75-1192
木材加工センター
TEL (0858) 75-0104

平成27回通常総代会の開催

第27回通常総代会が、5月23日に智頭町総合センターで開催されました。総代定数200人のうち、本人出席123人、委任状66人、計189人の出席により審議されました。

寺坂組合長の挨拶の後、ご臨席をいただきました来賓の鳥取県東部農林事務所八頭事務所長の永原様、智頭町総務課長の葉狩様、鳥取県森林組合連合会長の森下様から祝辞をいただきました。

本年の総代会では、富沢地区の岡本甚一郎さんが議長に選任され、円滑な議事進行により予定通り閉会することができました。岡本様、総代の皆様、有り難うございました。

本総代会に執行部より10議案が提案され慎重審議の結果、全ての議案が原案通り承認されました。組合員の皆様のご理解に感謝いたします。また、任期満了にともなう役員を選任も行われ、智頭町森林組合の舵取りを3年間行っていただきます。



挨拶をする寺坂組合長



議長に選任された岡本さん



出席された総代のみなさん



組合長挨拶



代表理事組合長
寺坂 安雄

青葉を渡ってくる風が初夏を思わせるような候となりましたが、組合員皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度の役員改選により、引き続いて代表理事組合長に就任させていただくことになりました。

近年の経済情勢や林業・木材産業を巡る動きが、先を見通せない状況の中での就任でありますので、身の引き締まる思いであります。今後とも組合員各位を初め関係者の皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意、取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、経済状況は4月の消費税増税が景気にどのような影響を与えるか、影響がでるとすればいつ頃回復基調になるか、大いに懸念されるところであります。

林業・木材産業を巡る情勢は、新築住宅着工戸数が99万戸とほぼ5年前の規模となるとともに、昨年秋頃から木材価格が回復に向かい、山側にとっては、活気のある状況となりました。

昨年の全国植樹祭を契機としたとっとりグリーンウェイブの更なる展開と木材価格の回復基調により林業や木材産業が今後更に成長産業になるよう、関係機関と協調し努力していきたいと考えております。

智頭林業のシンボルである杉神社が、今年、鎮座60周年、還暦を迎える年となります。森林組合が杉神社奉賛会の事務局をもっていることから、関係者と協議し、何らかのイベントを企画したいと考えております。このような機会を捉えながら林業の町智頭、杉の町智頭が再生に向かうよう、気持ちを新たにに取り組む契機にしたいと考えております。

森林組合の森林整備は、森林経営計画に基づき作業道開設しながら搬出間伐を業務の中核に捉えて、事業を展開する考えであります。

加工にあたっては、智頭材のブランドを前面に出し、販路拡大に取組みたいと思っております。

私は、森林組合員各位、役職員皆様のご協力をいただきながら、智頭林業の振興と智頭町森林組合の持続的な発展に全力を傾注いたす所存でありますので何卒、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度事業報告・経営状況

森林組合では、一昨年から推進してきた森林経営計画について、組合員をはじめ多くの方々のご協力により、昨年度の26団地につき、今年度は9団地を設定し、22団地で設定準備を進めております。今後は、この計画に基づき、作業路網の整備、高性能林業機械の活用により間伐等森林整備を推進することとしております。

森林組合においては、昨年度と同様に「鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業」(以下「緑プロ事業」という。)及び「造林事業」による作業道開設、搬出間伐事業及び境界明確化事業や智頭中学校改築に伴う製材を主要事業として取組み実施を致しました。

作業道の開設は、45路線14,114mを開設しました。

間伐事業では、搬出間伐11,255m³、間伐材持出し支援事業13,823m³を取扱いました。

加工事業では、県産材による地産地消の取組み、国のエコポイントにより伴う製材品や県外からの受注があったことから、加工品取扱高は2億4千万円でありました。

1年間の事業結果として、事業収益78,449千円(前年54,998千円)、経常利益25,865千円(前年21,407千円)を上げることができました。

これも組合員皆様のご理解と関係機関のご支援の賜と厚くお礼申し上げます。

損益計算書

科目	金額 (千円)
事業総利益	78,449
事業管理費	52,084
事業利益	26,365
事業外収益	△ 500
経常利益	25,865
特別損益	380
税引前当期剰余金	26,245
法人税・事業税等	7,628
当期剰余金	18,617
前期繰越剰余金	1,016
当期末処分剰余金	19,633

部門別損益

区分	損益 (千円)
指導事業	△ 2,870
販売事業	28,252
加工事業	27,297
森林整備	25,770
計	78,449

剰余金処分

科目	金額 (千円)
剰余金処分数	19,633
内 法定準備金	5,000
内 任意積立金	13,000
次期繰越剰余金	1,633

平成26年度 事業計画

森林組合の業務は、平成24年度、25年度設定の森林経営計画に基づく間伐等森林整備が、事業の大きなウエイトを占めるとともに、新たな地域での集約化・団地化による森林経営計画の策定が重要となっております。

新たな団地の設定に当たっては、昨年と同様に組合員の皆様の意向を伺いながら、集落説明会の開催に力を入れ、皆様の同意を得て、団地のカバー率65%を目標に頑張りたいと思っています。

森林整備は森林経営計画に基づく事業展開が中心となることから、「造林事業」をベースに事業実施いたします。

事業の内訳として、搬出間伐事業400ha、作業道開設事業40路線21,900m(内訳 林業専用道5路線2,500m、森林作業道35路線19,400m)、森林境界明確化事業160haを計画します。

加工事業は、現在の取引先を大切にしながら、智頭中学校改築の残事業にも取組みつつ、県内外に向けた販路拡大に努めることとしております。

1 指導部門

- 組合だよりの発行、森林見学ツアー、集落説明会・地区座談会・各種説明会の開催等により情報を提供するなど、組合員との連携強化に努める。
- 鳥取共生の森事業の充実を図る。

2 販売部門

- 高性能林業機械の効率的運営を目指す。
- 材の仕分け等により効率的な生産・有利販売に努める。

3 加工部門

- 製材加工品の販路拡大に努める。
- 智頭木材流通加工(協)との連携に努める。

4 森林整備部門

- 森林経営計画に基づき、路網整備や間伐に積極的に取り組む。
- 労働災害防止に努める。

損益計画

科 目	金 額 (千円)
収 益	669,840
費 用	615,085
事業総利益	54,755
事業管理費	49,110
事業外損益	△ 459
経常利益	5,186
特別損益	0
税引前当期純利益	5,186

☆新役員を紹介☆

平成 26 年 5 月 23 日（金）の第 27 回通常総代会において役員改選が行われ、理事 16 名、監事 3 名が選任されました。

総代会後、理事会を開催し、代表理事組合長に寺坂安雄氏、代表監事に酒本敏興氏が就任されました。組合の運営等、ご協力よろしく申し上げます。

選任された役員は下記のとおりです。



ニューフェイス紹介



しろぐち かつゆき

氏名 城口 勝之

出身地・・・鳥取県八頭郡八頭町

一言：4月より勤務しております。

早く仕事を覚えて、組合員様の期待に応えていきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。



まつもと あきのり

氏名 松本 晃典

出身地・・・鳥取県八頭郡八頭町

一言：今年4月より一般職員として勤務しております。まだまだ知らないことやできないことが多すぎますが今、自分ができることを精一杯して少しでも組合員の方をサポートしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。



やなぎはら こうへい

氏名 柳原 浩平

出身地・・・鳥取市国府町

一言：まだまだ未熟者ですが、皆様より信頼していただけるようになり、美しい森林を保持していきたいと思ひます。一生懸命頑張りますので、何卒、よろしくお願ひします。

☆ 総代の皆様 ☆

☆ お世話になります ☆

平成26年4月1日～平成29年3月31日までの3年間、総代として就任していただきます。ご協力よろしくお願ひいたします。

総代名簿

山郷地区		定員 26名	
住所	氏名	住所	氏名
尾見	寺坂 慶夫	中原	岡田 廣重
	青木 静人		岡田 八洲男
	寺坂 泰明		藤原 雅利
	河村 晓人		藤原 秀樹
白坪	河村 百喜平	福原	玉木 敏勝
	聲高 幹一		玉木 敏行
	尾崎 心男		藤原 康平
	聲高 節功		藤原 和寛
新田	岡田 二光弘	駒	藤原 操
	岡田 光幸		小林 勉
	中澤 幸彦		小林 敏克
中原	梶野 幸彦	駒	中村 公生

山形地区		定員 38名	
住所	氏名	住所	氏名
篠坂	古林 博美	浅見	浅見 公昭
	前田 博昭		春摘 篤政
	荒子 英明		村上 敦美
毛谷	小宮 山一男	池本	山口 健治
	澤米 由己		田中 潔
	前橋 志行		中西 公幸
大内	山根 弘二	大呂	大呂 佳己
	酒本 滋行		大呂 武久
	山根 政政		大呂 忠司
	大河原 達男		武田 彰弘
郷原	芦谷 吉敏	芦津	竹内 高途
	上谷 敏一郎		寺谷 正
	芦谷 茂樹		綾木 潔
	大坪 義道		上 志
米原	大坪 弘幸	八河谷	武谷 宗孝
	大坪 道雄		白岩 勝明
西野	白岩 道雄	八河谷	遠藤 肇
	大坪 則秋		白岩 肇

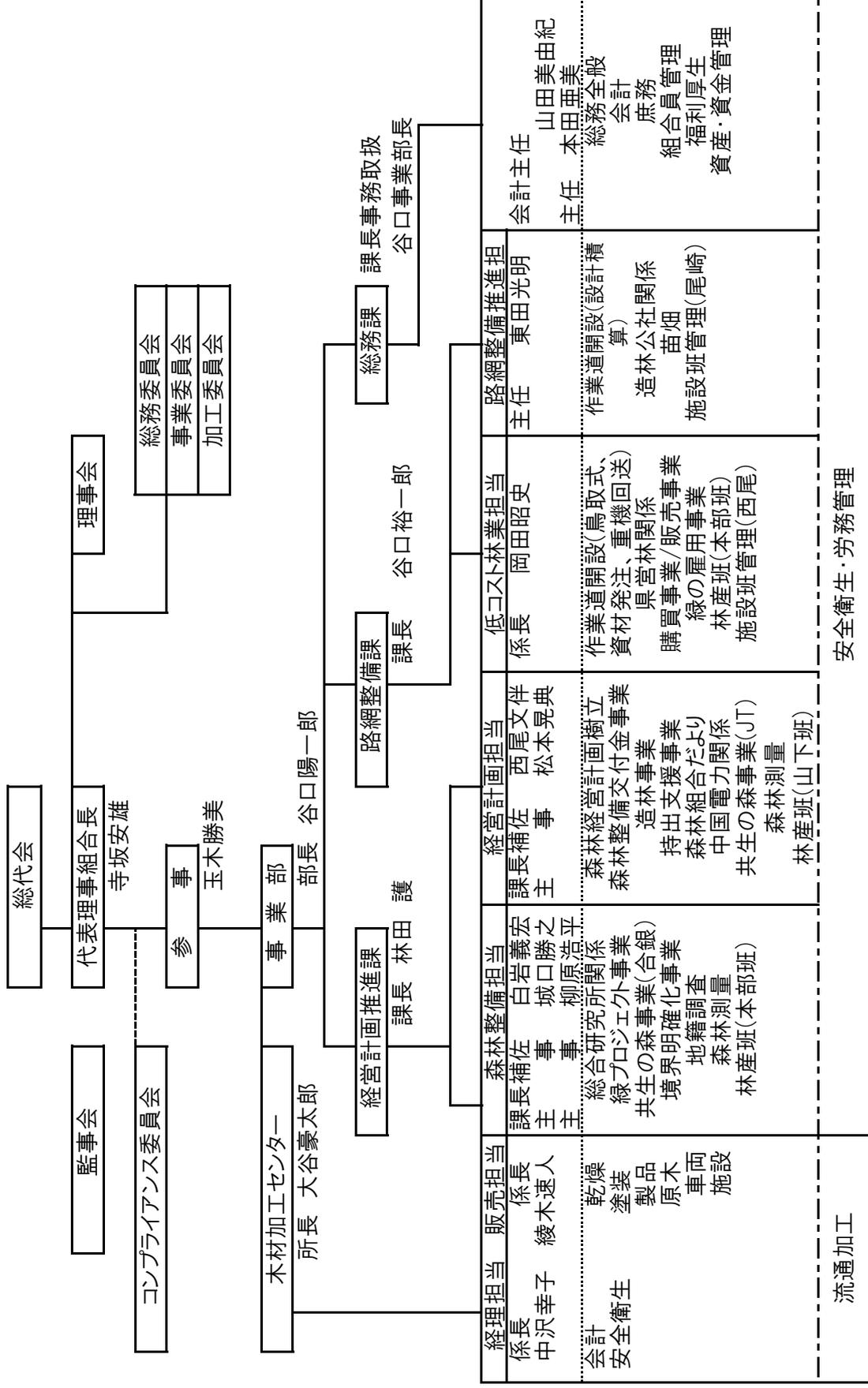
土師地区		定員 33名	
住所	氏名	住所	氏名
三田	谷口 敬介	三明	和田 博雄
	白間 寿雄		和田 友治郎
	谷村 泰照		小林 悟
山根	山本 耕太郎	天木	小林 嘉文
	藤本 一聖		小林 久男
	山中 章太郎		小林 章太郎
穂見	谷口 至全	大坪	稲塚 義典
	谷口 茂之		橋本 孝雄
	田中 功		橋本 千恵子
木原	佐々木 賢次	山田	山本 修二
	佐々木 永光		大藪 正孝
	谷口 善彦		浮田 寛之
横田	谷口 清之	十日市	福原 寛之
	河村 博泰		古田 隆章
	石田 紀光		谷口 憲一
石田	草刈 宗昭	駅前	田中 憲治
			平尾 和彦

富沢地区		定員 28名	
住所	氏名	住所	氏名
岩神	林 俊雄	新見	河村 慎一
	岡本 真一郎		河村 一則
坂原	国岡 義則	口波多	西村 孝司
	国岡 茂与次		西村 好史
	国岡 茂善章		米本 治男
中田	西尾 修	波多	小原 好幸
	西尾 寿美		大原 拓雄
	谷木 友之		和毅 隆
惣地	西尾 忠治	宇波	藤森 光夫
	西尾 寿行		寺坂 義美
	西尾 健次		中嶋 清弘
新見	河村 康	新見	藤森 弘
	河村 敏明		

那岐地区		定員 34名	
住所	氏名	住所	氏名
大屋	福安 健	早野	安住 政敏
	熊谷 美憲		柴田 操
	福安 勝		安住 勉
早瀬	森次 正行	駅前	大谷 悟司
	古田 敬泰		黒岩 清人
	長石 昭太郎		赤堀 和徳
真鹿野	寺坂 邦雄	東宇塚	赤堀 真輔
	谷口 栄祥		赤堀 俊明
	谷口 和徳		赤堀 利昭
野原	小谷 博明	下西	目春 雅志
	古谷 祥一郎		国政 節士
	古谷 知郎		前橋 欣祖
栃本	檀原 安之	奥西	安道 行雄
	正之助		国政 愛治
	竹下 逸雄		国石 貴信
早野	黒岩 悦雄	河津原	小川 寿朗

平成 26年 4月 1日 就任

平成26年度組織分担表



理事会開催報告

第1回理事会

平成26年5月8日

{協議事項}

- ① 定款の一部変更について
- ② 諸手数料の額の変更について
- ③ 役員退任慰労金について
- ④ 平成25年度決算について
- ⑤ 平成26年度事業計画について
- ⑥ 第27回総代会の開催日時及び付議する議案について
- ⑦ 職員給与の改定について

第2回理事会

平成26年5月23日

{協議事項}

- ① 代表理事組合長の選任について
- ② 常勤理事並びに非常勤理事の報酬額の支給方法について
- ③ 非常勤理事の退任慰労金の支給について
- ④ 理事が担当する委員会の所属構成について



地区座談会開催

去る2月5日から7日までの3日間各地区公民館(智頭地区は智頭町産業会館)を会場に恒例の地区座談会を県、町の来賓を招き開催しました。組合事業の説明、状況等を報告し組合員皆様のご意見、要望を聞かせて頂きました。

国産材の価格の今後の動向に、境界の明確化の推進と取組み、コスト削減に不可欠な路網整備の予算、開設した作業道の維持管理の要望等々活発な質問、御意見を頂きました。ご意見をもとに今後の組合の事業展開に活かしたいと思えます。

森林を思う意欲、熱意が落ちないよう身近な組合として情報を提供していきます。



森林経営計画の樹立に向けた集落説明会

平成23年度森林法の改正により大きく施策の転換となり集約化、団地化施策についての説明会を集落、地域ごとで行っています。取組む必要性やメリットを理解して頂き、森林所有者が団地化によるこれからの森林づくりで生産に期待できるよう樹立に向けて積極的に開催しています。



安全衛生研修会の開催

平成 26 年 5 月 31 日(土)に鳥取市の対翠閣で、作業員及び職員による安全祈願を 1 年間の作業の安全と健康を願って行いました。その後、安全研修会を開催して、日頃の作業中の危険性とその対策、また、課題についてじっくり話し合いました。最後に国石貴信さん、葉狩裕さんにより安全に対する決意表明が述べられました。

平成 26 年度 安全衛生目標「安全は、何者にも優先」



決意表明を述べる葉狩裕さん

定期会議	毎月 1 日	林産班リーダー会議
	毎月 5 日	施設班安全会議
	毎月 15 日	林産班全作業員の安全会議

安全衛生に向けた活動内容

外部者によるパトロールを毎月 1 回実施しています。また、作業現場ごとにリスクアセスメント・KYT による災害防止活動を実施しています。



智頭中学校改築工事第一期完成間近

昨年 5 月に竣工した智頭中学校改築第一期工事が間もなく完成間近になりました。智頭材をふんだんに使用した新しい校舎が姿を現しています。

杉の町・智頭にふさわしい丸太大径木が智頭林業の歴史を物語ってくれます。第二期工事も着手し来年の 4 月からは壮大な教育施設で、素晴らしい生徒が育ってくれることを期待します。



木材チップと木質バイオマス発電

- 数年来、国産材は形質・径級等により A 材、B 材、C 材に区分されます。

A 材は主に製材に向けられ、B 材は合板用に、C 材がチップ材として利用されております。

チップ用の C 材は智頭材の 20%程度と見込まれ、従来は製紙用として使われていましたが、最近コスト面などから、製紙用の需要は減少しております。

このような中で、再生可能エネルギー固定価格買取制度(略称：FIT)が出来たことから、燃やして発電にする動きが全国的な取組みとなっております。
- **鳥取県内の木質バイオマス発電**は、西部地域に日新バイオマス発電株式会社が 27 年 4 月に操業開始の予定で、現在建設中であります。

智頭町森林組合を初めとする県内の全ての森林組合は、原木供給業者として、鳥取県木質バイオマス供給推進協議会の構成員となって、「木質バイオマスの安定供給に関する協定書」を日新バイオマス発電(株)と締結しております。

なお、日新バイオマス発電(株)は、燃料の間伐材はチップでの受入となることから、智頭町森林組合は間伐材をチップ業者(又は、石谷市場)に納入することになります。
- **八頭町にチップ工場設置の計画**

チップ生産を主な事業としている山陰丸和林業(株)が八頭町山上地区にチップ工場を設置することになり、今般 6 月 5 日に鳥取県知事公舎で調印されました。

<チップ工場の概要>

- 設置事業者 山陰丸和林業株式会社 (本社：松江)
県内での事業所 日南町 (日野川の森林木材団地内)
- 処理量 30,000 トン(年間)
- 稼働時期 平成 27 年春
- 製品出荷先 来春操業の日新バイオマス発電(株)を初め、県内外に出荷する計画

～ 加工センターからお知らせ～

加工センターでは、公共物件、また県内外の各工務店等より受注があり構造材、内装材等を納めている所です。今では、製材品については、乾燥、モルダー加工が一般的になっており、現在乾燥機2基、4面カンナ盤等で対応しています。今年度、乾燥機1基増設、4面カンナ盤の入れ替えにより、施設を充実し品質向上を図る計画をしております。また、中学校の第2期の製品納入、各工務店等に工期に遅れることのないよう作業工程を組み、皆様によりよい製品を納めていきたいと思っています。

新築、増改築等タルキ1本から販売しておりますので、ご利用ください。

また、新築、増改築では、県産材を利用すると、助成が受けられますので、ご相談ください。(とっとり住まいる支援事業)

県ホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/sumai/>)



稼働中の乾燥機2基



4面カンナ盤

新築最高 90万円 / 増改築最高 45万円

林業機械点検会の開催

毎年、春と秋の年2回林業機械の無料整備点検会を開催しています。今春は、平成26年4月24日に智頭町森林組合前の駐車場で開催しました。

刈払い機、チェーンソーの整備や点検が無料ということで、数ヶ月前から点検会を待っていた方もあり、定着したイベントとして、多くのお客様にご利用いただいております。

最近の傾向としては、複数回利用のベテランのお客様に混じって、初心者に近い方も来場され、「チェーンソー、刈払い機を長時間使わない時は、燃料タンク中の燃料、オイルを抜いて置くと故障が少なくなる」ことをお知らせしております。

11月にも点検会を開催する予定であり、チェーンソー、刈払い機(その他の林業機械等)を格安で販売しておりますので、ご利用をお願いします。

購買品(森林香)のお知らせ



虫除けが必要な時期となりました。

広い野外での森林作業や農作業にはパワー赤函森林香が最適
森林組合の森林香は大変、好評です。

1,300円(税別)



共生の森の活動 「JTの森 智頭」

智頭町大字慶所地内「JTの森 智頭」において、日本たばこ産業株式会社の社員の皆さんの2期目の第2回の協働作業が、総勢144名により平成26年5月31日（土）に開催されました。

当日は、晴天に恵まれ初めに、日本たばこ産業株式会社社長 小泉光臣氏、副知事 林 昭男氏、智頭町長 寺谷誠一郎氏、慶所集落実行委員長 古田隆章氏、智頭町森林組合 寺坂組合長の5名の方により記念植樹の枝垂桜(しだれざくら)が植樹されました。

その後、各班に分かれ下刈作業と間伐体験が、午前中にJT従業員の方により実施され、昼食は、慶所集落の「あじさいの会」の自然が沢山詰まった御馳走をバイキング形式によりいただきました。その後、穂先タケノコの採取と八頭事務所農林業振興課の森田さんから講話をしていただき、湯がいたばかりのタケノコを希望者の方にお持ち帰りいただきました。



参加者の皆さんで集合写真



記念植樹



間伐作業体験



採取した穂先タケノコ



下刈作業



昼食風景

「ワクワクちづ」 ~智頭中学生の職場体験学習の受入をしました~

智頭中学校の教育活動の一環として、5月13日から15日までの3日間、2年生の大森椋太君(山形地区)が職場体験をされました。

- 初日は、森林の周囲測量を行いました。急斜面でも足取りもよく返事もハキハキしてやる気に満ちて良かったです。
- 2日目は、作業道の出来形測量、午後は、間伐作業地での研修を行い、林業機械のグループとチェンソーを使用してもらい、機械に興味を持ち、積極的に取り組んでいました。
- 3日目は、加工センターでの智頭材の製品が出来る工程にふれてもらいました。



<担当職員(岡田係長)の感想>

3日間を通して、挨拶など、規律正しく、作業の理解も早く、組合での体験を今後に活かしてもらいたいです。

「編集後記」

梅雨も半ばを迎え組合員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。26年4月より消費税が引き上げられ全体で約8兆円の税収増となるそうです。国の経済対策も景気落込みを回避できるよう、社会保障関係では、住宅購入の負担を軽減する措置など様々な政策が施されているようです。

さて、森林組合につきましても総代会を終え、新体制でスタート致しました。森林経営計画制度、木質バイオマス関連、智頭材の販路拡大など多様な課題に全力で取り組んでまいります。組合員の皆様におかれましては、ご自愛され、組合運営につきまして、引続きご理解とご協力をお願いすると共に、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。